

感染症に関する研究報告の名称一覧

| 番号 | 研究報告の題目 | 感染症の種類 | | 発生源 | 発生国 | 概要 | 出典文献等 | 備考 |
|----|-------------------|-----------|---------------|-----------|------|---|---|----|
| | | 器官別大分類 | 基本語 | | | | | |
| 1 | ウエストナイル熱の発生 動向 | 感染症および寄生虫 | ウエストナイルウイルス感染 | 血液 (蚊) | アフリカ | 2003年7月31日～8月6日に、米CDCはヒトにおける西ナイルウイルス感染症の計109症例の報告を受けたこと(うち死亡4例)などについて記載 | Centers for Disease Control and Prevention Vol.52 No.31 : 741, August 8, 2003' Morbidity and Mortality Weekly Report | |
| 2 | ウエストナイル熱の発生 動向 | 感染症および寄生虫 | ウエストナイルウイルス感染 | 血液 (蚊) | アフリカ | 2003年8月14日～8月20日に、米CDCはヒトにおける西ナイルウイルス感染症の計322症例(死亡5例を含む)の報告を受けたことなどについて記載 | Centers for Disease Control and Prevention Vol.52 No.33 : 796, August 22, 2003' Morbidity and Mortality Weekly Report | |

感染症に関する研究報告の名称一覧

| 番号 | 研究報告の題目 | 感染症の種類 | | 発生源 | 発生国 | 概要 | 出典文献等 | 備考 |
|----|-------------------|-----------|---------------|-----------|------|---|---|----|
| | | 器官別大分類 | 基本語 | | | | | |
| 1 | ウエストナイル熱の発生 動向 | 感染症および寄生虫 | ウエストナイルウイルス感染 | 血液 (蚊) | アメリカ | 2003年7月31日～8月6日に、米CDCはヒトにおける西ナイルウイルス感染症の計109症例の報告を受けたこと(うち死亡4例)などについて記載 | Centers for Disease Control and Prevention Vol. 52 No. 31 : 741, August 8, 2003' Morbidity and Mortality Weekly Report | |
| 2 | ウエストナイル熱の発生 動向 | 感染症および寄生虫 | ウエストナイルウイルス感染 | 血液 (蚊) | アメリカ | 2003年8月14日～8月20日に、米CDCはヒトにおける西ナイルウイルス感染症の計322症例(死亡5例を含む)の報告を受けたことなどについて記載 | Centers for Disease Control and Prevention Vol. 52 No. 33 : 796, August 22, 2003' Morbidity and Mortality Weekly Report | |

感染症に関する研究報告の名称一覧

| 番号 | 研究報告の題目 | 感染症の種類 | | 発生源 | 発生国 | 概要 | 出典文献等 | 備考 |
|----|---------------|-----------|---------------|-------|------|---|---|----|
| | | 器官別大分類 | 基本語 | | | | | |
| 1 | ウエストナイル熱の発生動向 | 感染症および寄生虫 | ウエストナイルウイルス感染 | 血液(蚊) | アメリカ | 2003年7月31日～8月6日に、米CDCはヒトにおける西ナイルウイルス感染症の計109症例の報告を受けたこと(うち死亡4例)などについて記載 | Centers for Disease Control and Prevention Vol. 52 No. 31 : 741, August 8, 2003' Morbidity and Mortality Weekly Report | |
| 2 | ウエストナイル熱の発生動向 | 感染症および寄生虫 | ウエストナイルウイルス感染 | 血液(蚊) | アメリカ | 2003年8月14日～8月20日に、米CDCはヒトにおける西ナイルウイルス感染症の計322症例(死亡5例を含む)の報告を受けたことなどについて記載 | Centers for Disease Control and Prevention Vol. 52 No. 33 : 796, August 22, 2003' Morbidity and Mortality Weekly Report | |

感染症に関する研究報告の名称一覧

| 番号 | 研究報告の題目 | 感染症の種類 | | 発生源 | 発生国 | 概要 | 出典文献等 | 備考 |
|----|--|--------|-----|-----|-----|--|---|----|
| | | 器官別大分類 | 基本語 | | | | | |
| 1 | CPMP Position Statement ON WEST NILE VIRUS AND PLASMA-DERIVED MEDICINAL PRODUCTS | - | - | - | - | 「エンベロープウイルスに対する不活化除去工程は西ナイルウイルスにも有効である。」とのCPMPの西ナイルウイルスに対する血漿由来製剤の安全性に関する見解を述べている。 | EMA/CPMP/BWP/3752/03/Adopted http://www.emea.eu.int/pdfs/human/bwp/375203en.pdf | |

感染症に関する研究報告の名称一覧

| 番号 | 研究報告の題目 | 感染症の種類 | | 発生源 | 発生国 | 概要 | 出典文献等 | 備考 |
|----|--|--------|-----|-----|-----|--|---|----|
| | | 器官別大分類 | 基本語 | | | | | |
| 1 | CPMP Position Statement ON WEST NILE VIRUS AND PLASMA-DERIVED MEDICINAL PRODUCTS | - | - | - | - | 「エンベロープウイルスに対する不活化除去工程は西ナイルウイルスにも有効である。」とのCPMPの西ナイルウイルスに対する血漿由来製剤の安全性に関する見解を述べている。 | EMA/CPMP/BWP/3752/03/Adopted http://www.emea.eu.int/pdfs/human/bwp/375203en.pdf | |

別紙様式第1

感染症に関する研究報告の名称一覧

| 番号 | 研究報告の題目 | 感染症の種類 | | 発生源 | 発生国 | 概要 | 出典文献等 | 備考 |
|----|--|--------|-----|-----|-----|--|---|----|
| | | 器官別大分類 | 基本語 | | | | | |
| 1 | CPMP Position Statement ON WEST NILE VIRUS AND PLASMA-DERIVED MEDICINAL PRODUCTS | - | - | - | - | 「エンベロープウイルスに対する不活化除去工程は西ナイルウイルスにも有効である。」とのCPMPの西ナイルウイルスに対する血漿由来製剤の安全性に関する見解を述べている。 | EMA/CPMP/BWP/3752/03/Adopted http://www.emea.eu.int/pdfs/human/bwp/375203en.pdf | |

感染症に関する研究報告の名称一覧

| 番号 | 研究報告の題目 | 感染症の種類 | | 発生源 | 発生国 | 概要 | 出典文献等 | 備考 |
|----|--|------------|--------------------------------|--------------|-----------|---|------------------------------|--------|
| | | 器官別大分類 | 基本語 | | | | | |
| 1 | 命令書（厚生労働省発医薬第0616020号）に対する報告 | 感染症および寄生虫症 | 梅毒NOS B型肝炎 C型肝炎 HIV感染 | 人血液 (原材料) | 日本 | 平成15年6月6日より遡って過去1年の間に血清学的検査及びNAT検査陽性が判明した供血者について、供血歴が確認され輸液用血液製剤の原料として使用された場合は、回収措置をとることという命令に対する日本赤十字社からの回答書。 | 厚生労働省HP (血安第421号) 2003 | |
| 2 | UNEXPLAINED DEATHS - IN DIA (Andhra Pradesh) (08) | 感染症および寄生虫症 | ウイルス性脳炎 NOS | 人血液 (原材料) | インド | インド(北部Andhra Pradeshおよび中央東部Maharashtra州)で250名の原因不明の患者(小児)死亡は、当初日本脳炎が疑われたが、平成15年7月29日、Puneにある国立ウイルス研究所(NIV)の専門家は病因をラプトウイルスの1種であるChandipuraと特定した。同国当局が死亡患者の病因としてChandipuraを報告したのは初めてである。Chandipuraはラプトウイルス科esiculovirus属の1種で、インドではこのウイルスが吸血性のハエから分離されることから、節足動物により媒介されること及び家畜やカニクイザルに抗体を認めることから、これらの動物が感染宿主であることが予測されている。 | PromED 20030730.1867 | |
| 3 | CPMP POSITION STATEMENT ON WEST NILE VIRUS AND PLASMA-DERIVED MEDICINAL PRODUCTS | 感染症および寄生虫症 | ウエストナイル ウイルス感染 | 人血液 (原材料) | 米国 カナダ | ウエストナイルウイルス(WNV)と血漿分画製剤についてCPMPの見解が示された。最近、北アメリカで報告されたWNV症例、血漿分画製剤からのリスク評価が示されている。 | EMA/CPMP/BWP/ 3752/03 | 030019 |

感染症に関する研究報告の名称一覧

| 番号 | 研究報告の題目 | 感染症の種類 | | 発生源 | 発生国 | 概要 | 出典文献等 | 備考 |
|----|--|------------|--------------------------------|--------------|-----------|---|------------------------------|--------|
| | | 器官別大分類 | 基本語 | | | | | |
| 1 | 命令書（厚生労働省発医薬第0616020号）に対する報告 | 感染症および寄生虫症 | 梅毒NOS B型肝炎 C型肝炎 HIV感染 | 人血液 (原材料) | 日本 | 平成15年6月6日より遡って過去1年の間に血清学的検査及びNAT検査陽性が判明した供血者について、供血歴が確認され輸液用血液製剤の原料として使用された場合は、回収措置をとることという命令に対する日本赤十字社からの回答書。 | 厚生労働省HP (血安第421号) 2003 | |
| 2 | UNEXPLAINED DEATHS - IN DIA (Andhra Pradesh) (08) | 感染症および寄生虫症 | ウイルス性脳炎 NOS | 人血液 (原材料) | インド | インド(北部Andhra Pradeshおよび中央東部Maharashtra州)で250名の原因不明の患者(小児)死亡は、当初日本脳炎が疑われたが、平成15年7月29日、Puneにある国立ウイルス研究所(NIV)の専門家は病因をラプトウイルスの1種であるChandipuraと特定した。同国当局が死亡患者の病因としてChandipuraを報告したのは初めてである。Chandipuraはラプトウイルス科esiculovirus属の1種で、インドではこのウイルスが吸血性のハエから分離されることから、節足動物により媒介されること及び家畜やカニクイザルに抗体を認めることから、これらの動物が感染宿主であることが予測されている。 | ProMED 20030730.1867 | |
| 3 | CPMP POSITION STATEMENT ON WEST NILE VIRUS AND PLASMA-DERIVED MEDICINAL PRODUCTS | 感染症および寄生虫症 | ウエストナイル ウイルス感染 | 人血液 (原材料) | 米国 カナダ | ウエストナイルウイルス(WNV)と血漿分画製剤についてCPMPの見解が示された。最近、北アメリカで報告されたWNV症例、血漿分画製剤からのリスク評価が示されている。 | EMA/CPMP/BWP/ 3752/03 | 030020 |

感染症に関する研究報告の名称一覧

| 番号 | 研究報告の題目 | 感染症の種類 | | 発生源 | 発生国 | 概要 | 出典文献等 | 備考 |
|----|--|------------|--------------------------------|--------------|-----------|---|------------------------------|--------|
| | | 器官別大分類 | 基本語 | | | | | |
| 1 | 命令書（厚生労働省発医薬第0616020号）に対する報告 | 感染症および寄生虫症 | 梅毒NOS B型肝炎 C型肝炎 HIV感染 | 人血液 (原材料) | 日本 | 平成15年6月6日より遡って過去1年の間に血清学的検査及びNAT検査陽性が判明した供血者について、供血歴が確認され輸液用血液製剤の原料として使用された場合は、回収措置をとることという命令に対する日本赤十字社からの回答書。 | 厚生労働省HP (血安第421号) 2003 | |
| 2 | UNEXPLAINED DEATHS - IN DIA (Andhra Pradesh) (08) | 感染症および寄生虫症 | ウイルス性脳炎 NOS | 人血液 (原材料) | インド | インド(北部Andhra Pradeshおよび中央東部Maharashtra州)で250名の原因不明の患者(小児)死亡は、当初日本脳炎が疑われたが、平成15年7月29日、Puneにある国立ウイルス研究所(NIV)の専門家は病因をラプトウイルスの1種であるChandipuraと特定した。同国当局が死亡患者の病因としてChandipuraを報告したのは初めてである。Chandipuraはラプトウイルス科esiculovirus属の1種で、インドではこのウイルスが吸血性のハエから分離されることから、節足動物により媒介されること及び家畜やカニクイザルに抗体を認めることから、これらの動物が感染宿主であることが予測されている。 | ProMED 20030730.1867 | |
| 3 | CPMP POSITION STATEMENT ON WEST NILE VIRUS AND PLASMA-DERIVED MEDICINAL PRODUCTS | 感染症および寄生虫症 | ウエストナイル ウイルス感染 | 人血液 (原材料) | 米国 カナダ | ウエストナイルウイルス(WNV)と血漿分画製剤についてCPMPの見解が示された。最近、北アメリカで報告されたWNV症例、血漿分画製剤からのリスク評価が示されている。 | EMEA/CPMP/BWP/ 3752/08 | 030021 |

感染症に関する研究報告の名称一覧

| 番号 | 研究報告の題目 | 感染症の種類 | | 発生源 | 発生国 | 概要 | 出典文献等 | 備考 |
|----|--|------------|--------------------------------|--------------|-----------|---|------------------------------|--------|
| | | 器官別大分類 | 基本語 | | | | | |
| 1 | 命令書（厚生労働省発医薬第0616020号）に対する報告 | 感染症および寄生虫症 | 梅毒NOS B型肝炎 C型肝炎 HIV感染 | 人血液 (原材料) | 日本 | 平成15年6月6日より遡って過去1年の間に血清学的検査及びNAT検査陽性が判明した供血者について、供血歴が確認され輸液用血液製剤の原料として使用された場合は、回収措置をとることという命令に対する日本赤十字社からの回答書。 | 厚生労働省HP (血安第421号) 2003 | |
| 2 | UNEXPLAINED DEATHS - IN DIA (Andhra Pradesh) (08) | 感染症および寄生虫症 | ウイルス性脳炎 NOS | 人血液 (原材料) | インド | インド(北部Andhra Pradeshおよび中央東部Maharashtra州)で250名の原因不明の患者(小児)死亡は、当初日本脳炎が疑われたが、平成15年7月29日、Puneにある国立ウィルス研究所(NIV)の専門家は病因をラプトウイルスの1種であるChandipuraと特定した。同国当局が死亡患者の病因としてChandipuraを報告したのは初めてである。Chandipuraはラプトウイルス科esiculovirus属の1種で、インドではこのウイルスが吸血性のハエから分離されることから、節足動物により媒介されること及び家畜やカニクイザルに抗体を認めることから、これらの動物が感染宿主であることが予測されている。 | ProMED 20030730.1867 | |
| 3 | CPMP POSITION STATEMENT ON WEST NILE VIRUS AND PLASMA-DERIVED MEDICINAL PRODUCTS | 感染症および寄生虫症 | ウエストナイル ウイルス感染 | 人血液 (原材料) | 米国 カナダ | ウエストナイルウイルス(WNV)と血漿分画製剤についてCPMPの見解が示された。最近、北アメリカで報告されたWNV症例、血漿分画製剤からのリスク評価が示されている。 | EMA/CPMP/BWP/ 3752/03 | 030022 |